

# 業務の新聞

第53号 2020年 3月 16日

## 2020春闘

JR 東日本は、3/13に「回答書」を提示し、2020春闘で私たちが申し入れた要求に対して会社経営側の姿勢を示しました。

その内容は以下の通りです。

①定期昇給を実施する。

昇給係数は4とする。

②基本給改定を実施する。

所定昇給額の10分の1の額並びに、主幹職B以上、技術専任職及びS等級以上には200円、主務職およびT等級には100円を加える。

③精算は、6/25以降準備出来次第。

会社回答には、“ベースアップした”“エルダー社員・グリーンスタッフの賃金アップ”など額は別として『ある程度評価』できる内容もありました。

中央本部は、「一律要求」「年功序列型賃金形態の継続」「第2基本給廃止」など課題が解決されていないことなどを考慮し『席上妥結せず、持ち帰り検討』と宣しました。

会社回答には、「令和2年度 新賃金のポイント」する“パンフレット”が付けられており①カフェテリアプランの補助拡大②職場環境の改善を進める（計画額45億円）③制服のリニューアルなどが記されています。

台風19号の影響、新型コロナウイルスの影響など私たちの会社の経営に『マイナス』が予想されます。

「変革2027」に向けた歩を進める会社経営陣は、私たちに更なるステップアップと無限の可能性へのチャレンジを求めています。

皆さんは、どう考えますか？

## 新型コロナウイルス

全世界を巻き込んで猛威をふるっている『新型コロナウイルス』は、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。また2020東京オリンピック・パラリンピック開催への影響も報じられています。

私たちに出来る“手洗い”などできることをしっかりと行いましょう。自分自身と家族を守るために！

職場では、マスクの着用など“普段と違う状況”で業務を担っています。

利用客の減少に伴う収入の減少も想定されます。

心配なこと、不足している備品などありましたら、職場管理者に相談するとともに地本にもお知らせください。

目に見えない“ウイルス”と“感染”への恐怖、治療薬のない“疾病”…。多くのお客様に接する私たちは、不安の中で生活を営みと業務を担っています。医薬品・生活必需品の不足や“買いため”、“不確かな情報の流布”など日本では残念な状況になっています。躍らせることなくしっかりと取捨選択して「目に見えない敵」とのたたかいに勝利しましょう。

多くの支社では、学校の臨時休校に対応して「指定の待機場所」を会社施設内に開設しています。会社として出来ることがもっとあるように感じます。

JRグループ会社で働く『仲間たち』では、マスクの支給もないところもあると聞きます。

地本は、皆さんの声をもとに本社・支社に働きかけたいと考えています。

繰り返します、手洗いと休養に確保などできることをしっかりとです。